

金融市場型(CS)特別勘定 運用状況(2010年11月末現在)

運用方針

- 主に国内の公社債を主要投資対象とする投資信託に投資することにより、中長期的に安定した投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、運用スタイルの分散や運用会社の固有リスクの分散を図るため、基本的に当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、各特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行っていきます。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	76,855	91.5%
現預金・その他	7,104	8.5%
合計	83,959	100.0%

運用状況

2010年11月の国内債券市場はNOMURA-BPI(総合)で1.09%下落しました。月の上旬、FRB(米連邦準備制度理事会)が追加金融緩和に踏み切ったこと等を受け、国内株式市場が上昇したことなどから、国内長期金利は上昇(価格は下落)しました。中旬以降、FRBが実施した追加金融緩和策を巡り批判が生じ、追加の金融緩和観測が後退すると、米国の長期金利が上昇し、国内長期金利は一段と上昇(価格は下落)しました。このような市場環境の中、当特別勘定は0.03%下落しました。

現在、「ノムラ短期債券オープン」および「フィデリティ・マネー・プールVA」に投資しています。

11月は当勘定における投資信託の売買はありませんでした。

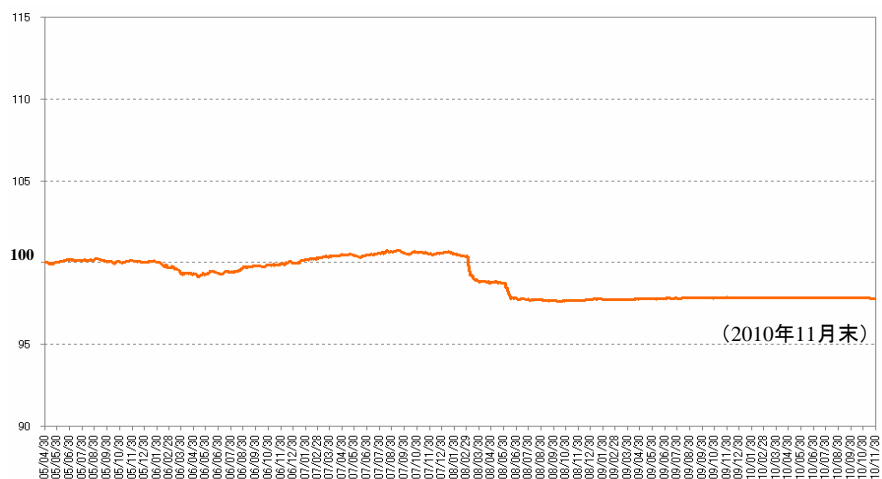
12月についても、これらのファンドへの投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定率
97.80355170	▲0.03%	▲0.06%	▲0.05%	▲0.06%	▲2.70%	▲2.20%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点を「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移(運用開始日:2005年5月1日)



ポートフォリオの状況

[組入れ投資信託(投資比率)]



(注)「p17上段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/22ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。